

第 2 回 安芸高田市総合計画審議会 議事録

第 2 回 安芸高田市総合計画審議会	
日時	2024 年 12 月 6 日（金） 15 時 30 分～17 時 00 分
場所	安芸高田市民文化センター（クリスタルアージュ 4 階小ホール）
出席者	別途、委員一覧参照
資料	<p>【資料 1】 第 1 回審議会の振り返り</p> <p>【資料 2】 主要な論点事項</p> <p>【資料 3】 第 3 次安芸高田市総合計画策定の進め方</p> <p>【資料 4】 第 3 次安芸高田市総合計画基本構想の素案</p> <p>【資料 5】 次期人口ビジョン・次期総合戦略の素案</p> <p>【参考資料】 アンケート調査（通勤者・外国人）の概要</p>
議事内容	
会長	<p>（質疑）</p> <p>P6（資料 1）安芸高田市における外国人の動向について、外国人の方のお住まいの地域というのは、比較的ある地域に集中して住んでいるのか、それとも市全域に分散的に住んでいるのか。</p>
事務局	<p>地理的な分布はまだ押さえていない（次回調べて提出する）。</p>
A 委員	<p>P10（資料 3）政策に関する目標設定について、基本政策ごとの目標の設定ではなく、横断的な目標が立てられ、政策としての目標は設定されていないという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>総合戦略の基本目標については一つの分野で達成できるものではない。そのため、分野を横断する形で総合的な目標という位置づけをとらせていただいている。また、政策の目標は、P17（資料 4）に政策目標として記載している。</p>
A 委員	<p>総合戦略の目標値は横断的に設定するということか。</p>
事務局	<p>総合戦略の目標値は横断的に設定することを想定している。目標値に関してはそれぞれ基本政策に紐づける形を想定している。</p>
B 委員	<p>P13（資料 4）第 3 次安芸高田市総合基本計画の第 2 章 基本構想の（3）将来像の実現に必要な目標数値の幸福度はどのように計測するのか。</p>
事務局	<p>市民アンケートにて計測する。国が一般的に示している設問項目「あなたは幸せですか」という設問と「自分の人生を振り返って人生に満足しているか」という設問を 1～10 段階評価で回答して頂く。今回は 2 つのパターンで計測する。</p>

B 委員	P13（資料4）第3次安芸高田市総合基本計画の第2章 基本構想の（2）将来像内の安芸高田市ならではの価値観・機能という点について、P15（資料4）第3次安芸高田市総合計画基本構想の（1）基本理念の設計案に示されている価値観・機能の具体化に収敛させていくという方向性を想定しているのか。
事務局	その通り。P15（資料4）に位置付けている3つの枠組みを想定している。
B 委員	普遍的な考え方の普遍性というものがP15(資料4)に示されるものになっていくということなのか。
事務局	こちらについてはぜひ議論していただきたいと考えている。現状ではP15(資料4)で示した安芸高田市らしいものを大事に思うという情緒的な側面と安芸高田市外から人を呼んでくる高次的な機能、生活を守り地域を支える機能という位置づけを考えている。普遍的については「誰に対して何を受け継いでいくのか」という観点からの価値観と機能だと思う。この点についてぜひご意見をいただきたい。
B 委員	意見として、普遍性というものはどの時代でもだれにとっても合意できる考え方だと認識している。その点で、P15(資料4)のスローガンは一致していると思う。しかし、まちづくりに係る普遍的な考え方は「どのような社会を実現するために力を合わせていくのか」まで考えた方がいい。以上を踏まえたうえで、お互いの生き方としての自由を尊重しあいながら、対話の中で解決や決定が行われる社会のような考え方もいいかと思う。そのあたりも考慮して頂きたい。
事務局	そのような考え方も今後検討していきたいと思う。
会長	P15（資料4）第3次安芸高田市総合計画基本構想の（1）基本理念の設計案について、価値観・機能を具体化したものが3つあるが、この3つの内容については現段階では仮説であり、この仮説についてアンケートを実施して検証することか。
事務局	その通り。
会長	アンケートについては仮説以外にも考えを答えられるような設計か。
事務局	その通り。現段階では仮説であるため、幅広いご意見がいただけるような設計にする。
C 委員	P15(資料4)の新しい価値観とまちの魅力を育む機能について、将来的な公共設備等の維持管理は利用者である市民数の減少を踏まえた検討が必要だと思う。また、外国人の就労についても、就労だけではなく、就労環境や住居環境を含めた検討を行わないと市民としての定着化の実現は難しいと思う。まちの魅力を伝える中で、文化施設等においては市民の利用実態を鑑みたうえで、どのように連携していくかが重要。市民の交流という観点では、広場、集会場は市民数減少に伴

	<p>う維持管理の難しさがでてくる。地域の施設に関して、どのくらい継続できそうかという試算は出してほしい。中長期的にどうしていくのかという考えをもう少し具体的に出してほしい。</p>
事務局	<p>財政や人口分布については人口ビジョンで具体的な数字も試算している。地域分布に関しては、現時点でお示しできないため、継続的に検討していく。地区の機能については、アンケート調査で自由記述も行い、住民の皆様の幅広い意見を取り入れていき、検討したいと考えている。</p>
D 委員	<p>外国の方の地域別人口は把握できていないという話だったが、地域に住まう外国の方から、ご意見をいただける機会がなかなかない。かかわり方を踏まえて何かわかれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>外国人アンケートを実施して検討したいと考えている。</p>
会長	<p>P16（資料4）第3次安芸高田市総合計画基本構想（1）将来像・目標指標の設計案について、市民の幸福度の現状はアンケートで把握できるが、現状を踏まえてどのように幸福度の将来目標値を設定しようとしているのかを教えていただきたい。</p>
事務局	<p>まだ詳細については検討できておらず、今後継続的に検討していく。現時点では内閣府が算出している地域幸福度を参考に安芸高田市ではどうしていきたいかを検討していくといった根拠づけをしながら整理するというイメージを持っている。</p>
会長	<p>その場合、施策による幸福度の変化を調べる感度分析のようなことは実施するのか。</p>
事務局	<p>どこまで精緻にできるかはわからないが、市民アンケート調査では要因分析ができるように設計する。感度については配慮したいと思う。</p>
C 委員	<p>P10（資料3）今後のスケジュールについて、市民アンケートの周知方法について教えていただきたい。</p>
事務局	<p>ホームページで周知して回答いただくというよりも、住民基本台帳から無作為に5000人の住民の方を抽出し、郵送して実施する。</p>
C 委員	<p>子育て世代インタビューはどのような形式で行うのか。</p>
事務局	<p>インタビューというよりは子育て世代の方に集まっていただき、ワークショップでご意見をお聞きしたいと考えている。</p>

E 委員 事務局	P15（資料4）第3次安芸高田市総合計画基本構想（1）基本理念の設計について、先ほど話があった新しい価値観を生む・まちの魅力を育む機能だが、既存の公共施設を活用した新しい価値観の生み出し方について教えていただきたい。 既存の施設に関して、点としての活用だけでなく、既存施設を起点とした地域全体への波及を目指した面としての活用を考えている。また、市民アンケートを通じて、市民がどのような機能が必要かという点をピックアップし、ワークショップ等を通じて、今後検討していきたいと考えている。
B 委員 事務局	P16（資料4）第3次安芸高田市総合計画基本構想（1）将来像・目標指標の設計案について、安芸高田市をベッドタウンという説明があったが、地域によってはベッドタウンである地域もあるが、市全体ではベッドタウンという認識がないように思う。その点はどうか。 ご指摘通りだと思う。すべての地区がベッドタウンというわけではないため、注意しながら整理する。
B 委員 事務局	理想の町を空間的に示すという点をもう少し具体的に教えていただきたい。 アンケート内の大切にしたい機能のご意見を踏まえた上で、地区別の行政区に対して、地図上の整理を行う。
B 委員 事務局	まちづくりに係る普遍的な考え方の中で機能と価値観が並列になっている点が気になる。もう少しご説明いただきたい。 情緒的な事柄と物資的な事柄を整理したいという発想で整理している。ご指摘通り、機能と価値観は並列ではないと考えており、今後機能と価値観の見せ方は工夫する。
会長	P15（資料4）第3次安芸高田市総合計画基本構想（1）基本理念の設計案について、市民が大切にしたい価値観を支える機能をまとめたものだと思う。まずは本日の素案の方向性で進めていただき、アンケートを実施し、その回答を踏まえてどんな形がみえてくるのかということを次回改めて議論させていただきたい。
F 委員 事務局	独身者に対する仲人制度は復活するか。 担当者からは同様の制度を再度行うことは考えていないと伺っている。理由としては、多様な生き方がある中で独身者へ統制的に結婚をすすめることへの疑念と個人情報の取扱いが難しいという点があげられる。きっかけづくりとしては、マッチングアプリを利用等、新しい方向性を議論している。
F 委員	P19（資料5）次期人口ビジョン（1）目的・役割について、救急の撤退・病院の撤退について、気を付けなければいけないと考える。

B 委員	<p>これまで受け継いできた価値観が、安芸高田市の現状に結びついている側面もあると考える。そのため、これまでの価値観というものも大切にしていきたいが、やはり、新しいまちづくりに対する考え方を持っていないと、この状況を覆す流れは生まれないのではないかと思う。そのため、アンケートではこれまでの価値観に対する考えを聞くだけでなく、市民が大切にしたい価値観を聞けるような設計がよい。市民の皆さんに、私たちのまちをこれからどうしていきたいのかヒントが得られるようなアンケートを強く望む。</p>
事務局	<p>ご指摘通り。アンケートの中には新しい価値観を把握できるような設問も設けている。</p>
E 委員	<p>総合計画の根本のお話になるが、一案として、何か総合計画の芯になるような施策を一つ設けるといふ考え方はどうだろうか。総合計画で示されているように様々な分野で目標を立てて実施していくという考え方は重要であると認識しているが、これだけは絶対に実施するというような計画の立て方はいかがだろうか。</p>
事務局	<p>人口の施策においても減少傾向を変化させるためには突き抜けた施策が必要になってくると思われる。アンケートやワークショップを行い、安芸高田市として検討していきたいと考える。また、皆さんのご意見も十分拝聴していきたい。</p>
E 委員	<p>委員のメンバーで施策に関して話し合うことができるのか。</p>
事務局	<p>P 35（資料 5）にて資料を準備しているので議論して頂く。進め方は調整させて頂きたい。</p>
会長	<p>本資料内で示されている事例は安芸高田市では導入が難しいと思う。安芸高田市に比較的近い事例と思われる長野県の下條村、岡山県の奈義町や西粟倉村といった事例の方が実感がわくかと思う。また、これらの町村の方向性等を参考に小規模自治体の事例を出していただくと助かる。</p>
C 委員	<p>邑南町等の身近な事例を出してほしいと思う。農業の就労は安芸高田市で可能かという点も事例が欲しい。</p>
G 委員	<p>P 38（資料 5）人口減少下における攻めの施策の事例（2）千葉県流山市 プロモーションから、安芸高田市を『年をとるなら安芸高田市』というように高齢者が住みやすいまちづくりを実施するという方向性はいかがだろうか。Uターン・Iターン者の定住を視野に入れた高齢者を大切にするまちづくりという観点は人口としては増加していくと思う。</p>
会長	<p>大変申し訳ない。お時間となりましたので、ご意見等ある方は直接事務局の方に言っていただきたい。本議会内では大きな方向性の変更を伴うご意見はなかった</p>

と思うが、施策や細部について一つ一つ精査する必要があるように思う。今後はアンケート結果を含めて協議を行えればと思う。

以上